

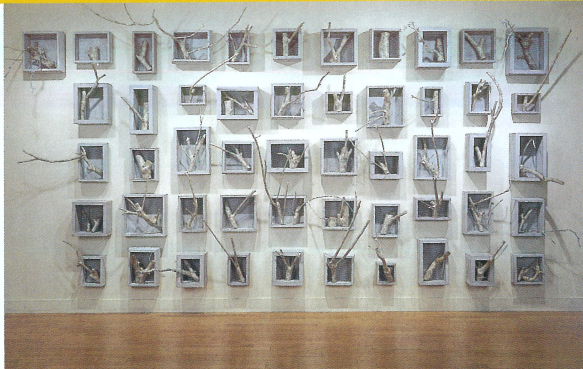
箱

イリ

美

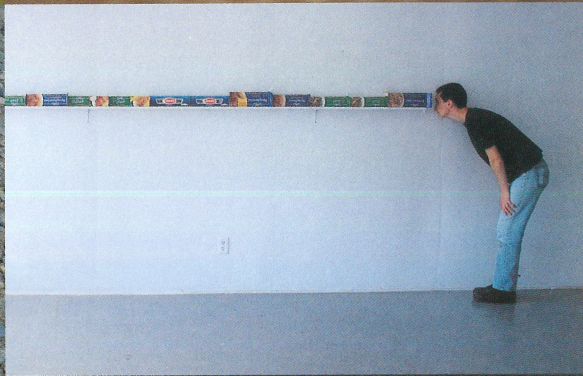
術

出品作家：内倉ひとみ(Hitomi Uchikura) 神山 明(Akira Kamiyama) 酒井賢司(Kenzi Sakai) 杉山健司(Kenji Sugiyama) 平林 薫(Kaoru Hirabayashi)



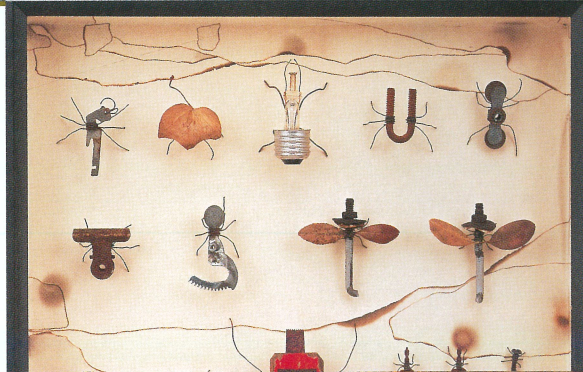
← Kaoru Hirabayashi
平林 薫「命の樹・プロジェクトI」1998年(参考図版)

↓ Hitomi Uchikura
内倉ひとみ「光の小箱」
1999年



← Kenji Sugiyama
杉山健司「ILLM - Institute of Intimate Museums」
1998年(部分・参考図版)

Kenzi Sakai →
酒井賢司「INSECT I」1991年(部分・参考図版)
Photo:堀口真澄



↓ Hitomi Uchikura
内倉ひとみ「サクロ スカトーラ」
2000年



↑ Akira Kamiyama 神山 明「海の果て」内部 1991年(部分)



2001年9月22日(土) - 11月4日(日) 刈谷市美術館 「ハンス・フィッシャー 絵本の世界展」と同時開催 第3展示室(2階)

休館日：9月25日(日)、10月1日(日)、9日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日) ※月曜日(祝・休日の場合は開館し、翌日(火曜日)が休館となります)

開館時間：午前9時～午後5時(ただし、金、土曜日は午後7時まで、入館は閉館時間の30分前まで) 主催：刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、中日新聞社 後援：愛知県教育委員会

箱 伊 美 術

本展は、私たちの日常生活に密着している箱をテーマとして取り上げて、その形態を表現に導入している現代日本の作家5名の作品を紹介します。日常誰もが使っている箱状のものは、内側にひとつの独立した空間を作り出す性質をもっています。そこには単に物を収納する用具を超えて、子供のころになれ親しんだおもちゃ箱やお弁当箱などから感じられたように、不思議な世界や特別な思いが存在していたり、また説話・浦島太郎で約束を忘れて開けてしまった玉手箱のように何か秘密めいたものが潜んでいることがあるようです。

開けてみたい、覗いてみたいという衝動をもたらす装置ともなる箱の形態。箱のなかを覗きこむことで、5名の作家がそれぞれの素材と手法で形成した個々の作品世界へと誘います。そこにはいったい何がこめられているのでしょうか。想像力を解き放ち、箱をとおして広がる不思議な美術の世界をお楽しみください。

Hitomi Uchikura

会期中の催しもの

【ワークショップ—出品アーティストによる】

①『ぼくらの部屋、街をつくろう』

箱のなかにお気に入りのものをきれいに飾って、自分の部屋をつくります。みんなの部屋を集めると街のできあがり。いろいろなものを置いて街をどんどん大きくしていこう。そして街のなかにカメラ付きのおもちゃの電車を走らせてみると…。

9月30日(日) 午後1時→3時30分

講師：杉山健司さん

対象：5才以上

定員：20名

参加費：100円(レクリエーション/保険代) ※要展覧会チケット

ところ：美術館2階研修室

※申込みが必要です

②『箱の中の宇宙—作ることはものと出会うこと—』

よく見ると身の回りには、変わった形のものがいっぱい。いつも使っていたもの、落ちていたもの、いろいろなものを使って、生きものたちに変身させよう。それらを箱のなかに入れて、自分だけのお気に入りの世界をつくります。

10月21日(日) 午後1時→3時30分

講師：酒井賢司さん

対象：小学生以上

定員：20名

参加費：100円(レクリエーション/保険代) ※要展覧会チケット

ところ：美術館2階研修室

※申込みが必要です

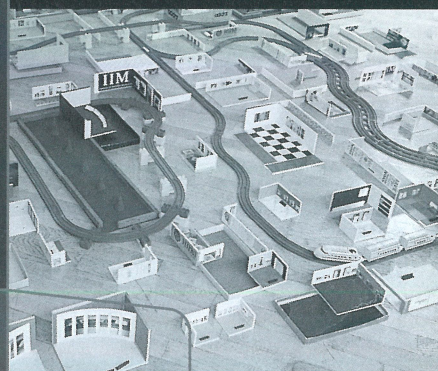
申し込み方法(①、②)：「往復はがき」か「FAX」にて、参加したいプログラム名、参加者名(ふりがな)、住所、TEL/FAX、年齢、学年・学校名、保護者名を記入のうえ美術館までお申し込みください。なお、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。

※定員をこえた場合は抽選とし、結果をお知らせします。

※しめきりはそれぞれの開催日の10日前(必着)まで。

あて先：〒448-0852 刈谷市住吉町4-5

刈谷市美術館 FAX0566-26-0511



杉山健司「I.I.M.—Institute of Intimate Museums」
2001年(部分・参考図版)

Akira Kamiyama

Kenzi Sakai

Kenji Sugiyama

平林薫 パフォーマンス&ワークショップ

『五十音のメッセージ』

日本の文字や言葉をテーマにしている平林薫。展示室内でサンブラー(録音した音を自由に加工し演奏できる機械)を用いたパフォーマンスや、作家と参加者で言葉のやりとり遊びをおこなう予定です。

日時：11月3日(土) 午後2時→3時30分

参加費：無料

※要展覧会チケット、当日受付・申込み不要

ところ：展示室内

Kaoru Hirabayashi

入場料	当日	前売/団体
一般	600円	400円
高大生	400円	200円
小中生	200円	100円

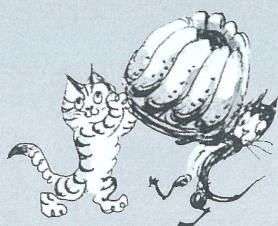
団体は20名以上。

前売り券の販売先：

サークルK、チケットぴあ、ファミリーマート、他

※同時開催「ハンス・フィッシャー 絵本の世界展」と「箱伊美術」は共通チケットです。

※身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者、及び付き添いの方(1名)は入場無料。手帳をご持参ください。



交通のご案内：

JR、名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口より徒歩10分、

名古屋方面より/国道23号線(知立バイパス)

「一ツ木」出口から約5km

駐車場：42台

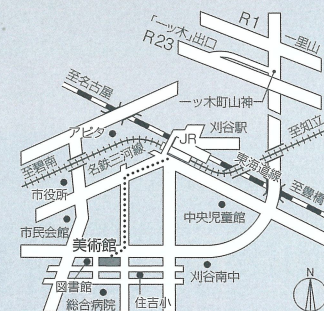
刈谷市美術館

Kariya City Art Museum

〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4丁目5番地

TEL(0566)23-1636 FAX(0566)26-0511

<http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>



R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています。